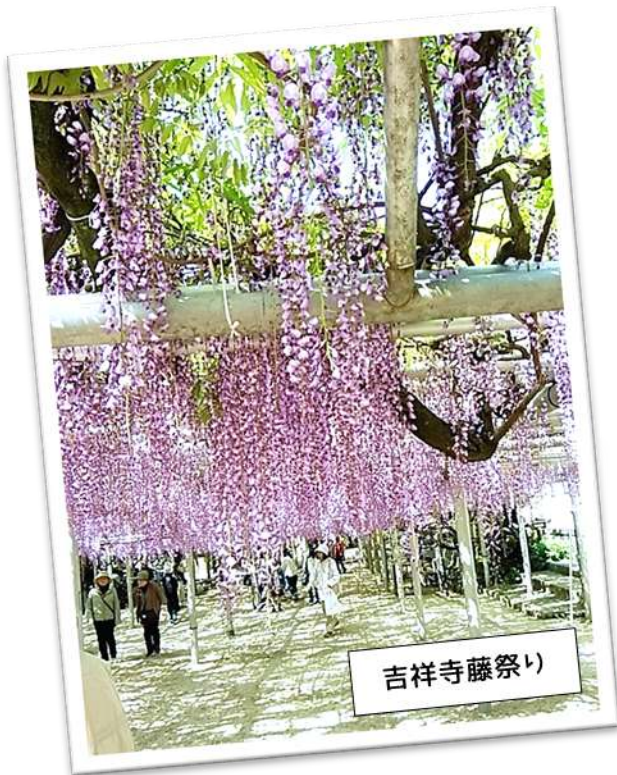


か っ き
2026



香月校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

魅力ある地域行事で人を育てよう！
みんなで見守り 安全安心なまちづくり！

2030

香月校区社会福祉協議会は、平成8年度に従来の香月地区社会福祉協議会(香月・楠橋・千代・池田地域)から市民センター単位に独立して発足しました。

ふれあいネットワーク活動の充実を目指し、5つの自治区会においてそれぞれ班活動をするために、民生委員・児童委員と自治区会で福祉協力員を選出し、連絡調整会議を設置しました。また、より活動を充実させるため、社協の組織に保健福祉部会、地域交流部会、地域安全部会、広報部会を設立しました。現在、地域安全部会、まちづくり協議会で名称を変えて事業を継続しています。

香月は旧産炭地で、炭鉱閉山後は生活保護率が著しく高かったものの、地区外からの移住者も増え、保護率も下がりました。地域は、住宅地域、商業地域、農業地域、旧産炭地域に分けられます。

自治区会ごとの活動についても、住宅地域以外は高齢化率も高く、地域活動にも温度差があります。しかも香月の高齢化率は35.0%と高く、八幡西区の平均を上回っています。

今後、一人暮らしの増加、見守り活動の負担、地域活動の担い手不足が考えられます。ながら見守り活動や登校時の見守り活動を一部の地域で実施しています。

ほかにも、年長者ふれあい交歓会、サロン活動、健康ウォーキング等を行っていますが、参加者は毎回同じ顔触れで、参加しない人が多くいます。これは周知不足もありますが、近隣の付き合いが希薄になって誘い合っただけの参加が減少しているのも一因でしょう。

香月は三大祭(藤まつり、ホタルまつり、お盆祭り・花火大会)や香月文化祭、盆踊り、どんど焼き、スポーツ教室等があります。伝統行事の継続や新たな担い手の発掘、特に若者の参加を促進し、また、みんなで見守り安心・安全なまちづくりを目指して活動を進めてまいります。

令和8(2026)年3月

香月校区社会福祉協議会
会長 金子 雅子



第1章 計画策定にあたって	1
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 香月校区の現状と課題	2
1 地域の特性	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	3
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目(体系図)	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	7
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	8
1 策定委員会委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、香月校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、香月校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び市・区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市の「地域福祉計画」及び北九州市・区社会福祉協議会が中心となって策定した「地域福祉活動計画」と整合性を図りながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 香月校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有した計画です。

2 計画の期間

2026（令和8）年度～2030（令和12）年度までの5カ年とします。ただし、計画期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

香月校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、香月校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置し、香月校区小地域福祉活動計画を策定しました。



第2章 香月校区の現状と課題

1 地域の特性

項目／年	平成6年	平成20年	令和7年度(※)	
世帯数	4,040世帯	4,110世帯	4,651世帯	
総人口	11,037人	9,258人	9,073人	
(内訳)	14歳以下	1,798人(16.3%)	1,192人(12.9%)	1,018人(11.2%)
	65歳以上	2,071人(18.7%)	2,527人(27.3%)	3,177人(35.0%)

(※令和7年9月30日時点)

市民センター	香月市民センター	小学校	香月小学校
地域包括支援センター	八幡西6	中学校	香月中学校

香月校区は、八幡西区の南部に位置し、千代・池田・楠橋校区と隣接している東西に長い地域である。住民の多くは、近隣校区や中間市の商業施設・医療機関を利用しており、その移動手段として筑豊電鉄（西部）や西鉄バス（東部）がよく使われている。

地域独自のお祭りが多く、実行委員会の大半がボランティアで構成されるなど、地域に愛着を持つ人が多い。また、校区内にスポーツ施設（体育館・運動場）があり、住民同士の交流の場としてだけでなく健康増進にも寄与している。

なお、地区の高齢化率は35.0%と、市内平均31.6%を大きく上回る。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

●魅力ある文化を次世代へ継承したい

- ・香月校区では、吉祥寺藤祭りや香月・黒川ほたる祭り、八幡南お盆祭り・花火大会、文化祭など様々な世代の住民同士が交流できる地域行事を催しています。これらの地域行事や文化を継承していくためには、若い世代を巻き込み、魅力をより高める取組みが必要です。多くの人にまちの魅力を伝え、世代間の交流が生まれる機会（場）をつくっていきます。

●だれもが安心して暮らせるまちをつくりたい

- ・住民一人ひとりが互いに気にかけて、日頃からの見守りや助け合いの体制づくりが、安全安心なまちをつくる基盤となります。しかし、活動者が限定されており、その方々の負担が増えているという現状があります。地域全体で支え合う仕組みを強化し、安心して暮らせるまちを目指します。

1 基本理念

**「魅力ある地域行事で人を育てよう！
みんなで見守り 安全安心なまちづくり！」**

香月校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。その実現に向けて、基本理念と3つの基本目標、そして17の取組みを定めました。

2 基本目標

(1) 世代間のつながりを広げよう

年長者ふれあい交歓会やサロン活動など、従来からの交流の場を継続するとともに、子どもから高齢者まで所属に関わらず自由に集える行事や、親子で気軽に出かけ楽しめる場をつくり、住民同士顔の見える関係を目指します。


(2) 地域の文化をつなげ 絆を深めよう

まちづくり協議会や自治区会と連携し、吉祥寺藤祭りや香月・黒川ほたる祭り、八幡南お盆祭り・花火大会など、地域の伝統文化を継承させます。またSNSを活用して地域行事の魅力を校区内外へ発信するだけでなく、様々な地域行事が一丸となってまち全体を盛り上げ、香月校区住民の絆を深めます。

(3) みんなで見守り 安全安心なまちづくり

ながら見守り活動の継続・周知を行うとともに、健康・防犯に関する講演会を行ったり、見守り時のポイントなど学ぶ機会を設けたりなど、みんなで安全安心なまちづくりを推進していきます。

3 実施項目（体系図）

<p>基本理念</p> <p>魅力ある地域行事で人を育てよう！</p> <p>みんなで見守り</p> <p>安全安心なまちづくり！</p>	基本目標	主な取り組み（主体）
	<p>世代間のつながりを 広げよう</p>	<p>年長者ふれあい交歓会(校区社協)</p> <p>サロン活動(校区社協)</p> <p>公園草刈り(公園愛護会)</p> <p>カツキフェス(カツキフェス実行委員会)</p> <p>スポーツ大会(自治区会・公民館・スポーツクラブ)</p> <p>健康ウォーキング(まち協<健康づくり委員会>)</p>
	<p>地域の文化をつなげ 絆を深めよう</p>	<p>吉祥寺藤祭り(吉祥寺藤祭り実行委員会)</p> <p>香月・黒川ほたる祭り(香月・黒川ほたる祭り実行委員会)</p> <p>八幡南お盆祭り・花火大会(八幡南お盆祭り・花火大会実行委員会)</p> <p>香月文化祭(香月文化祭実行委員会)</p> <p>どんど焼き(自治区会・児童館・市民センター・公民館)</p> <p>自治区会盆踊り大会(自治区会)</p> 
<p>みんなで見守り 安全安心なまちづくり</p>	<p>ながら見守り活動(まち協<防犯防災部会>)</p> <p>登校見守り (香月西…自治区会・公民館 / 香月中央…生活安全パトロール隊)</p> <p>健康に関する講演会(まち協<健康づくり委員会>)</p> <p>防犯・防災に関する講演会(校区社協・交番・消防)</p> <p>年末防犯防災パトロール (香月西・香月中央…自治区会・公民館 / 楠北…自治区会)</p>	

4 重点実施項目

今回定めた基本目標を達成するために、特に関係機関・団体と連携して重点的に進めていく事業を「重点実施項目」と定め、次のことを推進していくことにしました。

重点実施項目①		人と人がつながる 地域交流の充実 地域交流の取組みの継承および充実					
1 課題背景及び地域の現状							
<p>香月校区では様々な世代が交流できる地域行事(お祭り)のほか、市民センターを拠点とした多彩な催しやイベントが行われているが、活動者が限定・高齢化してきており、活動の存続が懸念される。</p> <p>これらの活動の主体である各実行委員会や自治区会・市民センターなどが連携すること、そして新たな活動者を増やし、香月校区における地域交流の要となる既存の地域行事やイベントを次世代へ継承していくことが課題である。</p> <p>また、サロン活動においても、参加者が固定化されていたり実施状況に課題がみられたりするなど、身近な住民交流の拠点としての役割が十分に発揮されているとはいえない地域もある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>地域行事などの様々な主体が連携し、より広い範囲の住民や世代が“活動者”としても“来場者”としても参加したくなるような情報やまちの魅力を発信するために、Instagramを活用した広報を行う。</p> <p>また、日頃から地域住民同士が楽しく交流できるサロン活動を充実させることで、“<u>ふだんのくらしのしあわせ</u>(=福祉)”のまちの実現を目指す。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
サロン活動など 地域交流の場の充実	・公民館 ・自治区会 ・市民センター	→					・活動できていないサロンの再開 ・新たな地域交流の場の創出
広報の強化	Instagramの開設	→					R8 実行計画書作成 タイトル募集 各種調査
	操作説明会の実施	適宜 →	→	→	→		R9 本格運用 定期的に操作説明会の実施

重点実施項目②		見守り活動の充実					
1 課題背景及び地域の現状							
<p>民生委員や福祉協力員が、地域住民の相談の窓口となって困りごとや相談に乗っている。定期的な訪問活動のほか、日頃から「ながら見守り活動」として地域の安全安心づくりに努めている。一方で、町内会加入者数や地域活動者の減少により、まちづくりの担い手不足が懸念される。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>現在の見守り活動を継続するとともに、より内容を充実することで、地域全体で支え合える体制の強化を図る。また、若い世代も巻き込み、これからの活動の担い手を育てていく。</p>							
3 段階的な取組みの年次計画							
取組み内容	連携する機関	R8	R9	R10	R11	R12	備考
ながら見守り活動	まちづくり協議会	→					福祉協力員全員に「ながら見守り」の腕章配付
防犯・防災パトロール 年末の恒例行事	自治区会	→					従前の取組みの継続
登校見守り活動	・自治区会 (香月中央・香月西) ・香月小学校 ・保護者 ・香月校区青少年育成会	→					・入学時に全世帯へ、登校見守りの黄色旗を配付 ・保護者や祖父母、サポーターの方など、協力し合いながらの見守りを実施
防犯・防災に関する講演 および 防犯・防災意識の向上	・香月交番 ・八幡西消防団 (第9分団) ・市民センター	→					・現場の地図や写真を用いて内容を充実させる ・警察と連携したLINEを活用する ・市民センターなど住民が集う場に、非常食やAED・消火器・人工呼吸器等展示し、防災意識を高める



1 地域への計画の承認と周知

計画を推進していくために、以下の計画の広報活動を行います。

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布等を通じた地区住民への周知 等

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

計画を推進していくために、香月校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理等について、委員会で協議を進めていきます。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施

(2) 計画の進行管理

香月校区小地域福祉活動計画推進委員会を年度に数回程度開催します。(当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催)委員会では、PLAN(計画立案)DO(実行)CHECK(点検・評価)ACT(改善)というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合にはその原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期間には新しく計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料 【香月校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 香月校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

No.	氏名	所属団体名	役職
1	金子 雅子	香月校区社会福祉協議会	会長
2	濱 章一	香月校区社会福祉協議会	事務局長
3	本田 正雄	香月まちづくり協議会	健康福祉部長
4	藪 啓蔵	香月まちづくり協議会	青少年育成部長
5	中村 翔	岩崎自治区会	会長
6	飯盛 雄一	香月校区社会福祉協議会	副会長
7	岩崎 フミ子	民生委員・児童委員	会計
8	清水 健二	香月中央自治区会	町内会長
9	向野 一敏	香月老人クラブ連合会	会長
10	加来 清広	香月市民センター	館長
11	日高 辰司	香月児童館	館長
12	宮田 理	香月小学校	校長
13	吉富 誠二	香月交番	係長



小地域福祉活動計画 第一次計画策定委員

2 香月校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	R7年8月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画とは ・地域の現状把握や課題、地域資源の抽出について
2	R7年9月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組みの整理、新しい取組みの検討 ・体系図の作成 ・基本目標、基本理念の検討①
	R7年10月28日(火)	第一回役員打合せ (体系図の確認、基本理念・基本目標・重点実施項目の検討)
3	R7年10月29日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標、基本理念の検討② ・重点実施項目について検討、実施計画づくり①
4	R7年11月11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙デザインについて① ・取組みの主体の確認 ・重点実施項目の実施計画づくり②
	R7年12月3日(水)	第二回役員打合せ (計画冊子・概要版の内容検討等)
5	R7年12月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙デザインについて② ・重点実施項目の実施計画づくり③
6	R8年1月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画冊子および概要版の最終確認



社会福祉協議会のイメージキャラクター

プチボザウルス Petit vo saurus



Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)



香月校区社会福祉協議会

〒807-1102 北九州市八幡西区香月中央1丁目7-1 香月市民センター内
TEL 093-617-0203 FAX 093-618-4262

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ6階
TEL 093-642-5035 FAX 093-642-5077

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた8階
(代表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579
(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351